2023年度 日本工学院専門学校											
演劇スタッフ科											
スタッフワークショップ2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	寺嶋陽子・山本浩二 山田岳史・増田有示			実務 経験	有	職種	舞台スタッフ				
担当教員紹介											
<p>業界で15年間スタッフワークの経験あり。コンサート・イベント、放送、舞台の美術を中心に打ち合わせから、図面について、施工納品までの実務経験を持つ。現場実務に必要な高所作業、木工加工、有機溶剤取り扱いの技能講習修了。</p>											
授業概要											
<p>後期は、照明・音響・舞台監督・大道具・装置デザイン・小道具のセクションから専門的に学ぶ分野を選択する。学生が各セクションに分かれたのち、再びその分野のスタッフワークを基礎から学び、確認をする。前期のローテーション実習の段階よりも、各自の進路についてより具体的なイメージを持つことにより、就職活動に結びつける。文化祭において舞台スタッフとしての取り組み、1年次のまとめとしての修了公演に向け、より実践的にスタッフワークを学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>後期のはじめには文化祭が行われるため、実習とはいえ、学生がより実践的なスタッフワークを身につける。年度末には、外部からの方々に足を運んでもらい一般の方々にも公演をみてもらい修了公演が控えており、声優演劇科とのコラボレーションで行われる本番に向けスタッフワークの基礎を落とし込む。1年生のみのグループによる修了公演を円滑に進められるようにする。同時に次年度に向け就職に対する意識も向上させる。</p>											
授業方法											
<p>希望セクションに分かれて、より専門的な実習となる。各セクションの2年生との交流も始まり、授業内だけでなく、身近に知識や技術を習得することも出来る。業界における仕事の進め方を学び、プロとしての意識を高める。</p>											
成績評価方法											
実習課題	60%	各セクションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する									
修了公演	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する。1年次の総まとめ									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>希望セクションを選ぶ際にしっかりとした情報収集を行い、よりストレスのないセクションに行く。同時に業界研究、企業研究も行い、就職に対する意識も高める。専門的な実習なので1日の授業で実習内容がかなり展開する場合もあるので、欠席や遅刻に十分気をつける。作業しやすい服装・実習ジャンパー着用。アクセサリははずし、長い髪はまとめる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。</p>											
回数	授業計画										
1週 (2回)	顔合わせ、自己紹介、ガイダンス										
2週 (2回)	基礎振り返り 1										
3週 (2回)	基礎振り返り 2										
4週 (2回)	実機取扱い 1										
5週 (2回)	実機取扱い 2										

2023年度 日本工学院専門学校	
演劇スタッフ科	
スタッフワークショップ2	
6週 (2回)	模擬仕込み 1
7週 (2回)	模擬仕込み 2
8週 (2回)	秋季発表 1
9週 (2回)	秋季発表 2
10週 (2回)	秋季発表 3
11週 (2回)	修了公演 1
12週 (2回)	修了公演 2
13週 (2回)	修了公演 3
14週 (2回)	修了公演 4
15週 (2回)	修了公演 5
16週	後期に入り希望別セクションに分かれての実施 (大道具・照明・音響・舞台監督・小道具・デザイン)